

教育 かしま

第49号

発行日
令和4年3月1日
発行
鹿嶋市教育委員会
連絡先



(電子版はこちらから)

鹿嶋市教育委員会 総務就学課
Tel0299-82-2911 (内線522)

地域の特色ある教育活動を応援し、開かれた教育環境を推進するための情報を掲載していきます。

子どもたちの安心安全を守る！ 通学路合同点検を行いました

通学路につきましては日頃より安全点検を実施しているところですが、昨年の千葉県八街市で下校途中の小学生が巻き込まれる交通事故の発生に伴い、改めて、9月末から10月中旬にかけ、警察署、道路管理者など関係機関と小学校の通学路の合同点検を実施しました。

点検した箇所は94箇所、合同点検や通学路安全対策推進会議を通して、対策案を話し合いました。対策としては、ポールを設置や路面標示の再塗装などが挙げられましたが、全ての箇所において、工事等に対応できる場所ばかりではありません。

そのため、教育委員会や学校では、交通ルールの遵守や危険予測・回避能力の育成など、交通安全教育を推進していくとともに、子どもたちが安全に安心して学校生活を送れるよう、保護者や地域の皆様の力が必要と考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

※点検箇所の一部は下表のとおりですが、点検した94箇所は、市ホームページに掲載しています。

通学箇所	通学路の状況	対策案
波野小学校 鹿嶋市明石 (旧国道51号線) 波野小学校前歩道橋	階段の滑り止めの殆どが劣化してめくれている。	 滑り止めの修繕
豊郷小学校 鹿嶋市須賀 (県道18号線)	ガードレールがなく、歩道と車道の境も分かりづらい。道幅が狭く、車と児童の間に十分な間隔がとれない。	 道路拡幅 歩道整備 (工事实施中)
三笠小学校 鹿嶋市平井 (市道8058号線) 三笠幼稚園脇の道路	ガードレールがなく、歩道と車道の境も分かりづらい。道幅が狭く、車と児童の間に十分な間隔がとれない。	 道路拡幅の検討と停止線の再塗装

地域の皆さまへの大切なお願い

1. 安全運転のお願い

おおむね午前7時から午前8時まで、午後3時から午後6時までが児童生徒の登下校時間となっております。その時間帯は速度を落とすなど、安全運転にご協力をお願いします。学校周辺では、「時間帯車両通行規制」「一方通行」「速度制限」などの規制がある道路があります。また信号のない横断歩道を横断しようとする児童生徒がいたら、一時停止をお願いします。

2. 所有地の管理・点検のお願い

歩道等に木の枝や雑草がはみ出ていると、通行に支障が出たり、そこを避けるために車道にはみ出たりして通行しなければなりません。所有している土地の管理と定期的な点検をお願いします。また、傾いた塀についても、適切な管理をお願いします。

3. 「ながら見守り」のお願い

「ながら見守り」とは、保護者や地域の皆様が、日常の活動を行う際に、子どもの見守りを行うことです。子どもの安全確保だけでなく、地域の防犯力向上にもつながります。

- 例) ・ゴミ出ししながら見守る
・犬の散歩をしながら見守る
・ウォーキングやジョギングをしながら見守る
・花の水やりや手入れをしながら見守る など



～鹿嶋市の小中一貫教育～

鹿嶋市では、9年間連続した学びの中で「確かな学力」と「豊かな人間性」を育める小中一貫教育が有効であるとの考えから、「鹿嶋市小中一貫教育基本方針」を策定し、市内全地区での実施に向けて進めています。

①高松小・中学校における小中一貫教育について

施設の立地条件において小学校と中学校が隣接し、相互乗り入れ授業などの教育が行いやすい環境にある高松地区をパイロット地区として選定し、平成30年4月から隣接型の小中一貫教育をスタートして4年目となりました。児童生徒の交流や小中学校の専門教科の教員による乗り入れ授業などの実践により、児童生徒の心の育成や中1ギャップの解消、学力の向上など効果が得られました。しかしながらその一方で、移動時間がかかることによる「交流授業回数の確保」や「お互いの学校の様子を教員が見に行く時間がない」、「保護者や地域の方から見ても小中一貫教育で何が変わったのかわからない」などの課題がありました。

今回、高松小学校及び高松中学校両校共に校舎の大規模改修時期を迎え、上記のような課題を解消し、小中一貫教育をより一層効果のあるものとして推進するには、小学校と中学校の施設の一体化が有効であると考え、令和4年度に高松中学校の大規模改造工事を行い、令和5年度から施設一体型の小中一貫教育を行います。

スケジュール予定

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度～
高松中学校校舎	中学生 中学校にて生活	大規模改造工事期間	高松小中一貫教育「施設一体型」スタート 中学生 小学生
高松小学校校舎	小学生 小学校にて生活 児童クラブ・学校開放	中学生 小学生	

令和4年度は中学生が小学校へ移動して生活します。



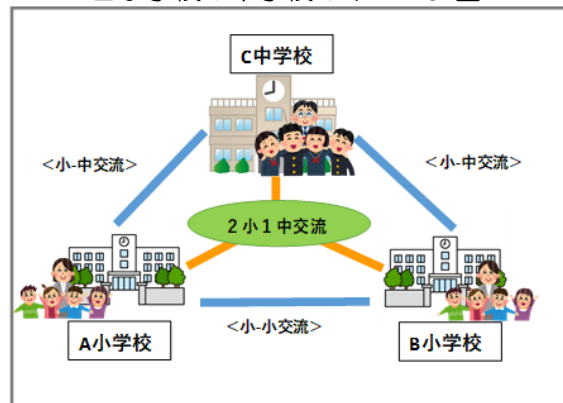
高松小学校
マスコットキャラ
「まつき」さん

②全市的な小中一貫教育の推進について

高松小中学校以外の学区については、複数の小学校から中学校へ進学することや施設が離れた立地条件であることから、基本的には中学校区ごとの「施設分離型」の小中一貫教育スタイルを推進していきます。

高松小・中学校での4年間の隣接型の小中一貫教育の実践を参考に、他校の専科教員によるICT機器を活用したオンライン授業や小中学校間での児童生徒や教職員の相互交流など、施設分離型における鹿嶋市の小中一貫教育スタイル例（右ページ上図）の中で、各中学校区ごとにできることから実践を進めていきます。

2小学校1中学校のイメージ図



＜鹿島小の英語専科教員による鹿野中学生徒へのオンライン授業＞

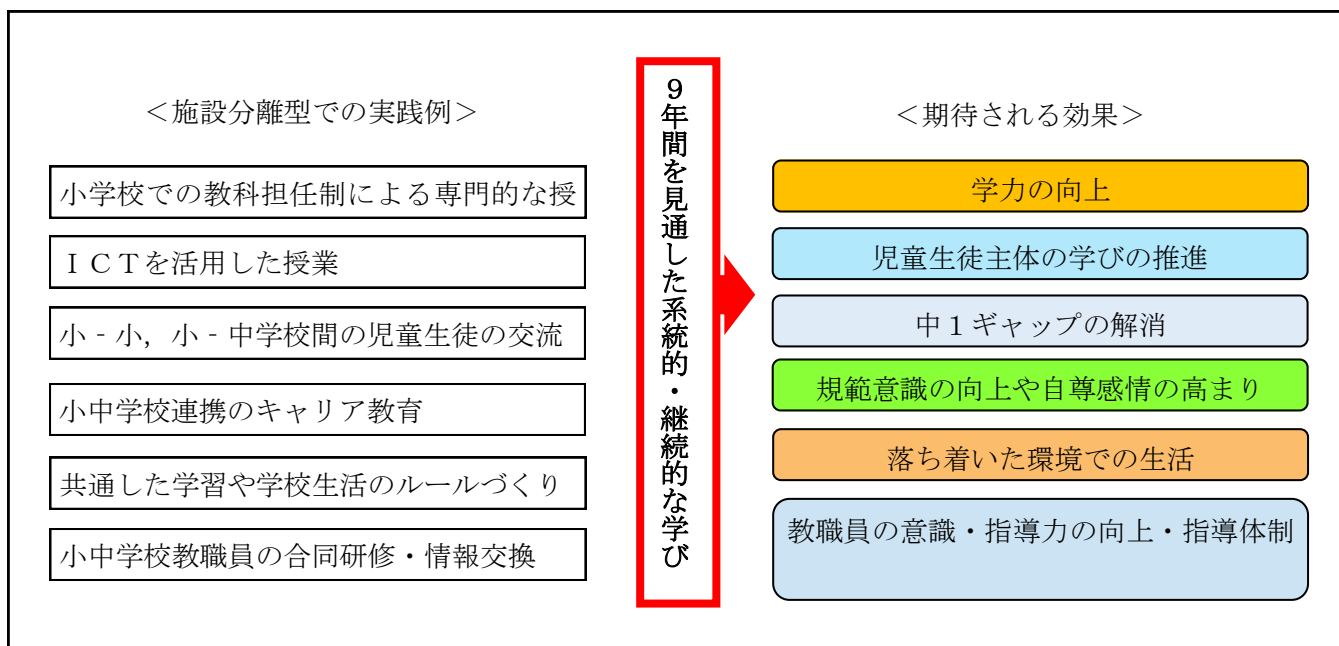


鹿野中学校の生徒



鹿島小学校の専科教

施設分離型における鹿嶋市の小中一貫教育スタイル例



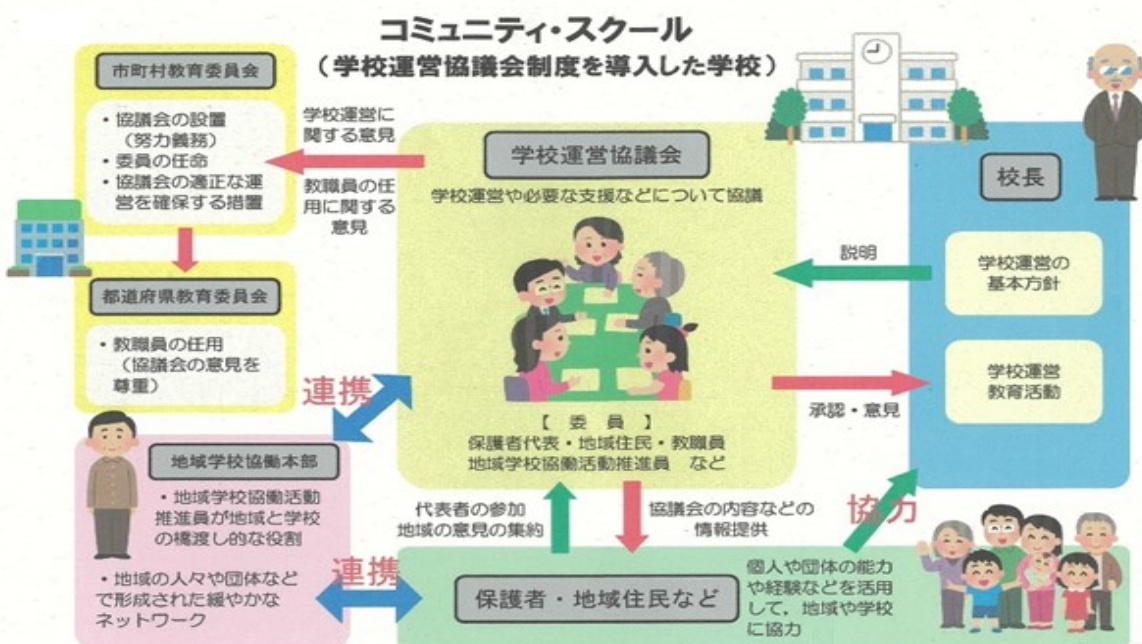
「コミュニティ・スクール」を推進しています！

コミュニティ・スクールは、これからの時代を担う子供たちのために、地域社会全体（学校教職員・保護者・地域人材）で子供たちの学びをより豊かに、そして「魅力ある学校づくり」につなげていきたいと思いますという取組です。同時に、学校職員や子どもたちを介して保護者と地域人材が「顔見知り→知人→友人→仲間」となり、近年希薄になりつつある絆のつなぎ直しを目指した「魅力ある地域づくり」につなげていきたいと思いますという取組です。

これらの目標を実現していくためには、これまで鹿嶋市が培ってきた公民館活動を基盤として地域・家庭・学校の「新たな絆づくり」が、コミュニティ・スクールの定着に寄与しています。（下図参照）

本事業が市民のみなさんに、そして、児童・生徒に広がっていき、いつの日かコミュニティ・スクールが「鹿嶋市のニュースタンダード」になるよう、取り組んでいきます。

詳しくは、下記QRコードから文部科学省ホームページをご覧ください。



<文部科学省HP>

<これからのコミュニティ・スクールイメージ図>

令和4年4月より鹿嶋市立スポーツ施設の指定管理者が変更になります。

鹿嶋市では、市立スポーツ施設の管理運営に指定管理者制度を導入しています。令和4年4月1日からの指定管理者が決定しましたのでお知らせします。

施設名	期間	指定管理者
<ul style="list-style-type: none"> 鹿嶋市立カシマススポーツセンター ト伝の郷運動公園多目的球技場（公園部分含む） 鹿嶋市立大野第一球場 鹿嶋市立はまなす公園球場 	3年間	株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シー（新規）
<ul style="list-style-type: none"> 鹿嶋市まちづくり市民センター（体育館、庭球場） 高松緑地（多目的球技場、野球場、庭球場、クラブハウス、温水プール） 鹿嶋市立北海浜多目的球技場 鹿嶋市立高松球場 	令和4年4月1日から 令和7年3月31日まで	特定非営利活動法人かしまスポーツクラブ（継続）

宇宙から受信！パラボラアンテナの仕組みの動画を鉢形小で放送！

令和4年1月24日（月）、鉢形小学校の5年生の教室で、宇宙に関する動画を給食の時間に放送しました。

この動画は、鹿嶋宇宙技術センターの研究者である「布施哲治（フセ テツハル）」先生が、昨今の新型コロナウイルス感染症予防対策の給食時の黙食の状況を聞き、子どもたちに給食を楽しんでもらうことを目的にFMかしまと共同で作成しました。

今回、鹿嶋市のシンボルであった「パラボラアンテナの仕組み」について電子黒板を活用して放送し、子どもたちは黙食をしながら動画に夢中になっていました。

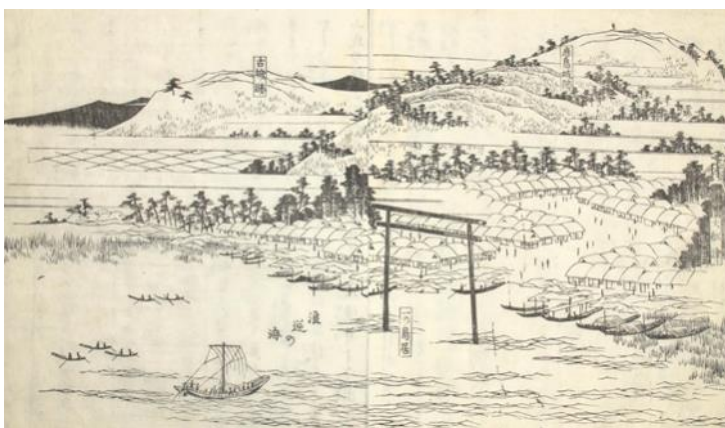
放送終了後に子どもたちは、「楽しく学ぶことができた」「給食美味しかった」と嬉しそうに話していました。



→給食の様子（鉢形小学校）



←パラボラアンテナの仕組みを紹介している様子



△『鹿嶋志』にある大船津を描いた絵図
鹿嶋デジタル博物館URL

(<https://city.kashima.ibaraki.jp/site/bunkazai/50057.html>)



鹿嶋の文化財 第一弾 “絵”で見る江戸時代の鹿嶋

江戸時代後期の国学者であり鹿島神宮の神官であった北条時鄰（ホウジヨウ トキチカ）が、一八二四年に著した『鹿嶋志』の挿絵図には鹿嶋の各所の風景が描かれています。

左図はそのうちのひとつで大船津を描いた絵図です。手前側に「西の一の鳥居」があり、その奥には鹿島城跡（現在の城山公園あたり）が見えます。現在の風景と重なる部分もあり、当時の鹿嶋が偲べれます。そのほかの絵図についても「鹿嶋デジタル博物館」に掲載しています。現在の鹿嶋と見比べてみてはいかがでしょう？